IRIScan Express 4

簡単ユーザガイド

目次

1. はじめに
2. ソフトウェアのインストール
   2.1 Windows へのインストール方法
   2.2 Mac OS へのインストール方法
3. サポートされる文書
4. スキャナの使用法
   4.1 上面ビュー
   4.2 背面ビュー
   4.3 IRIScan Express 4によるスキャン
5. メンテナンス
   5.1 スキャナのキャリブレーション
   5.2 スキャナのクリーニング
6. トラブルシューティング
   6.1 紙詰まりの除去
   6.2 質問と回答
   6.3 製品サポート
7. 仕様
8. 法的情報

1. はじめに

IRIScan Express 4 を初めて使用する際にはこのユーザーガイドをご覧ください。

本スキャナとソフトウェアを使用する前に本ガイドをお読みください。情報はすべて、予告なく変更されることがあります。

このスキャナには、以下のソフトウェアが同梱されています。

Windows：

- Readiris Pro 14
- Cardiris 5
- Button Manager
- Capture Tool

Mac OS：

- Readiris Pro 14
- Cardiris 4
- Capture Tool

Readiris、Cardiris、Button Manager、Capture Tool の詳しい機能については、**www.irislink.com**をご覧ください。

2. ソフトウェアのインストール

重要な注意事項

- お使いのコンピュータにソフトウェアをインストールしてから、スキャナを接続してください。
- I.R.I.S.
  サイトのシステム動作環境をご覧になり、お使いのシステムが使用できることを確認してください。

注意事項

- スキャナに直射日光が当たらないようにしてください。日光や過剰な高温にさらされると、本器が故障する恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い場所にスキャナを設置しないでください。
- 均一で平らな面に確実にスキャナを置いてください。傾いてた面や不均一な面におくと、機械的な問題や給紙に関する問題が発生する恐れがあります。
- 運搬時に備えて、スキャナの外箱や包装材を保管しておいてください。

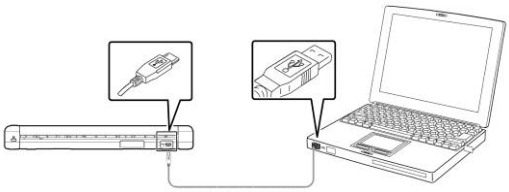
2.1 Windows へのインストール方法

1. **www.irislink.com/softwaredownload**にアクセスします。
2. [Windows] リンクをクリックして IRIScan Express 4 パッケージをダウンロードします。
3. ダウンロードが完了したら IRIScanExpress4.exe ファイルを実行します。
4. 次のようなセットアップ画面が表示されます。

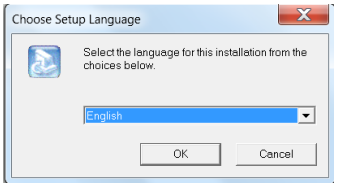
5. 「Readiris Pro 14」をクリックして Readiris をインストールします。画面上の指示に従います。

6. セットアップ画面に戻り、「IRIScan Express 4」をクリックして、スキャナドライバをインストールします。

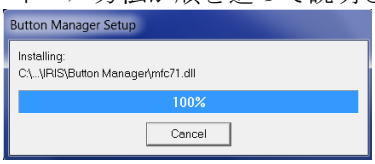
7. 「USB ケーブルを差し込む」のステップに達するまで、「次へ」をクリックします。
   - スキャナの USB ポートにマイクロ USB コネクターを接続します。
   - お使いのコンピュータの USB ポートに USB コネクターの他端を接続します。



8. ドライバのインストールが成功すると、次のメッセージが表示されます。「本器は使用可能な状態になりました。」
9. 「完了」をクリックしてセットアップ画面に戻ります。
10. [Button Manager] をクリックして Button Manager をインストールします。言語選択ウィンドウが表示されます。



11. インストールしたい言語を選択します。InstallShield ウィザードによって、残りのインストール方法が順を追って説明されます。



12. 「完了」をクリックしてインストールを完了します。
13. 「Cardiris Pro 5」をクリックして Cardiris をインストールします。画面上の指示に従います。

注意：ソフトウェアの起動に必要なライセンス番号は、箱の中のライセンスシートに記載されています。

2.2 Mac OS へのインストール方法

1. **www.irislink.com/softwaredownload**にアクセスします。
2. ［Mac］リンクをクリックして IRIScan Express 4 パッケージをダウンロードします。
3. ダウンロードが完了したら IRIScanExpress4.exe ファイルを実行します。
4. 次のようなセットアップ画面が表示されます。

5. Readiris Pro 14.pkg ファイルを実行して画面上の指示に従います。
6. 次に「**インストール**」をクリックして、実際のインストレーションを開始します。
   Readirisを実行する際に、管理者ユーザー名とパスワードを入力するよう求められることがあります。
7. シリアル番号を入力するよう指示されます。
   シリアル番号は製品の箱の中にあるライセンスシートに記載されており、15桁の数字が含まれています。
8. インストレーションが終了したら「**閉じる**」をクリックします。
   インストール プログラムにより、［**アプリケーション**］フォルダに［Readiris］フォルダが追加されます。
9. セットアップ画面に戻り、IRIS Scanner.pkg ファイルを実行して画面上の指示に従います。
   Readirisを実行する際に、もう一度管理者ユーザー名とパスワードを入力するよう求められることがあります。
10. お使いのコンピュータにスキャナを接続します。
11. セットアップ画面に戻り、Cardiris 4 をインストールします。

注意：ソフトウェアの起動に必要なライセンス番号は、箱の中のライセンスシートに記載されています。

3. サポートされる文書

本スキャナは、オリジナル文書が以下の形式に該当する場合に、スキャン結果が最良となるように設計されています。

- 写真と文書（3”x5”、4”x6”、5”x7”、8.5”x14”）（76 x 127mm、102 x 152 mm、127 x 177 mm、216 x 356 mm）
- 名刺［標準 3.5”x 2” （88 x 50 mm）またはそれ以上のサイズ］
- 長いページ（8.5”x36”）（216 x 914 mm）（300 dpi のみ）
- 紙の重量：60～107 g/m^2（16～28 lb）

不適切な文書

以下のようなオリジナル文書はスキャン***しないでください***。スキャナが誤動作したり、紙詰まりが起きる恐れがあります。

- 0.8 mm 以上の厚みを持つオリジナル
- どちらか1辺の長さが 50 mm に満たないオリジナル
- 黒などの暗い色の多いオリジナル
- 周囲が暗い色で囲まれているオリジナル
- 印刷物（新聞や雑誌など）

■　薄くて柔らかな材質（薄い紙や布など）

4. スキャナの使用法

4.1 上面ビュー

項目	名前	説明
1	給紙スロット	印刷面を上に向け、用紙の左端を合わせて給紙スロットに文書を挿入し、スキャンを開始します。
2	用紙ガイド	スキャンする文書のサイズに合わせて調整します。
3	スキャナボタン	押してスキャンする（Windows PCのみ）

4.2 背面ビュー

項目	名前	説明
1	マイクロ USB ポート	マイクロ USB ケーブルでコンピュータに接続します。

4.3 IRIScan Express 4によるスキャン

IRIScan Express 4 は、種々の方法で使用できます。

- **Button Manager (Windows のみ)** で、Readiris で文書を直接スキャンしてテキストを認識したり、好みのアプリケーションや種々のクラウドにスキャンすることができます。
- **Readiris** または **Cardiris** 内から
- **Capture Tool** 内から

重要：

- 一度に1ページのみを挿入し、前のページのスキャンが終わったら次のページを挿入してください。さもないと、スキャナが誤動作することがあります。
- 用紙検出器はきわめて高感度です。画像の上部が切れてしまうことがあるので、給紙スロットに無理に文書を押し入れないでください。スロットに文書が入り始めたら、そのまま手を離してください。

1. 印刷面を上に向け、用紙の左端を合わせて給紙スロットに文書を挿入します。次に、文書の右側にある用紙ガイドを調整します。

2. 文書を静かに押して、給紙スロットに入れます。
3. **Windows の場合：スキャナ**ボタンを1回押すと、スキャンが始まります。
4. **Mac OS の場合：**Readiris か Capture Tool で「**スキャン**」をクリックします。

本ユーザーガイドでは、基本的なスキャン方法についてのみ説明します。

Button Manager、Capture Tool、Readiris、Cardiris
のそれぞれに、個別のユーザーガイドが用意されています。

文献パッケージは、インストール
パッケージおよびwww.irislink.comの技術サポートセクションをご覧ください。

5. メンテナンス

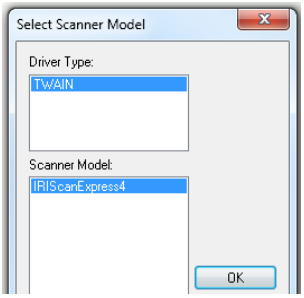
5.1 スキャナのキャリブレーション

スキャン後の画像がぼやけたり、色が異常（通常よりも濃いなど）
になった場合、または、8000枚以上スキャンした後や長期間使用せずに保管されていた後にのみ、キャリブレーションを行なってください。キャリブレーションを行なうと、コンタクト イメージ
センサーがリセットされ、色やシャープネスの精度が元の状態に復帰します。

1. お使いのコンピュータにスキャナを接続します。
2. Capture Tool を起動します。

   Windows の場合：

   - [スタート] > [すべてのプログラム] > [IRIScan Express 4 スキャナ] > [Capture Tool] の順にクリックします。
   - ドライバのタイプとスキャナモデルを選択し、OK をクリックします。



   Mac OS の場合：

   - [ファインダー] > [アプリケーション] > [Capture Tool] の順にクリックします。

3. [Capture Tool] ダイアログボックスが表示されます。
4. 「**セットアップ**」ボタンをクリックして [スキャナのプロパティ] ダイアログボックスを開きます。
5. Windows の場合：「**設定**」タブをクリックし、「**キャリブレーション**」ボタンをクリックします。
6. Mac OS の場合：「**詳細**」タブをクリックし、「**キャリブレーション**」ボタンをクリックします。
7. [**キャリブレーションシートを挿入**] ダイアログ ボックスが表示されます。
8. キャリブレーションシート *(同梱)*
   の端を持ち、テキスト面を上に向け、白い部分から先にフィーダーに挿入します（下図を参照）。

9. [**キャリブレーションシートを挿入**] ダイアログ
   ボックスで「OK」をクリックするとスキャナのキャリブレーションが始まります。

警告:キャリブレーションが失敗すると、赤い LED
が点滅し、画面にエラーメッセージが表示されます。スキャナ接続し直してから、キャリブレーションを繰り返します。

5.2 スキャナのクリーニング

スキャンの質を最適な状態に維持し、ほこりの蓄積を防止するために、200回スキャンするたびに、もしくは、スキャンされた画像に垂直な線や縞模様が現れたら、スキャナ *(外囲器と給紙ローラー)* をクリーニングするようお勧めします。

■ スキャンのクリーニングには、付属のツールのみを使用してください。

警告:プラスチック材質が損傷を受けることがあるので、スキャナのクリーニングには、溶剤や腐食性の液体 *(アルコールや灯油など)* を使用しないでください。

1. フィーダーに片方の親指を置き、カバーの上にもう一方の親指を置いてスキャナを保持し、カバーを開きます。フィーダーに向かって慎重にかつ強く親指を押し、カバーを持ち上げます。するとスキャナの上部が、スキャナの底部から外れます。

2. クリーニングクロス（同梱）でスキャナのガラス面と給紙ローラーと CIS カバーを静かに拭きます。

6. トラブルシューティング

6.1 紙詰まりの除去

1. フィーダーに片方の親指を置き、カバーの上にもう一方の親指を置いてスキャナを保持し、カバーを開きます。フィーダーに向かって慎重にかつ強く親指を押し、カバーを持ち上げます。するとスキャナの上部が、スキャナの底部から外れます。

2. 紙詰まりを取り除きます。

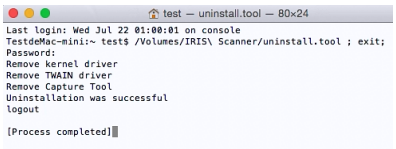
3. カバーを閉じ、文書をもう一度挿入して再スキャンします。

6.2 質問と回答

質問：	**スキャンされた画像がいつも暗いのはなぜですか？**
回答：	1. 画面の設定を SRGB に調整してください。 2. アプリケーションソフトウェアから、画面上の明るさの設定を調整してください。

質問：	**スキャンされた文書に変な線が入るのはなぜですか？**
回答：	以下の各項目を確認してください。 1. オリジナルに傷が付いていませんか？ 2. スキャン前にオリジナルから染みやほこりを除去してください。 3. 同梱のクリーニングクロスでローラーとガラスをクリーニングしてください。（「スキャナのクリーニング」のセクションを参照のこと）
質問：	**光学解像度を 600 dpi に設定すると、「自動トリミング」や「傾き補正」が無効になるのはなぜですか？**
回答：	自動トリミングや傾き補正を実行すると大量のシステムメモリが消費されるので、エラーを防止するために、光学解像度を 600 dpi 未満に設定するようお勧めします。

質問：	**スキャナが触れないほど熱くなるのですが、これは正常ですか？**
解答：	スキャナを長時間使用すると多少発熱しますが、これは正常です。しかし、スキャナから異臭が出たり、触れないほど熱くなる場合には、直ちにスキャナの電源を切ってください。

質問：	**Mac OS で IRIScan をアンインストールするにはどうしたらよいですか？**
解答：	I.R.I.S. のサイトからダウンロードしたパッケージにアクセスします。 「**スキャナのアンインストール**」フォルダを開きます。 「**押してアンインストールする**」をダブルクリックします。 スーパー ユーザー パスワードを入力します。  IRIScan ドライバと Capture Tool が削除されます。

6.3 製品サポート

それでもIRIScan Express
4の使用に関する問題が解決しない場合には、www.irislink.comの技術サポートセクションをご覧ください。

7. 仕様

仕様はすべて、予告なく変更されることがあります。

形式番号：	FF-1310H（片面スキャナ）
画像テクノロジー：	密着型画像センサー（CIS）
光学解像度：	1200 dpi
スキャンモード：	白黒
	灰色
	カラー
紙の重量：	16～28 lbs（60～107 g/m^2）
ID カードの厚み：	0.8 mm 以下
インターフェイス：	USB 2.0 互換のマイクロ USB ポート
USB 電源：	5V DC、500mA
消費電力：	2W 未満（動作時）
	0.6W 未満（スタンバイ時）
動作温度：	10°C ～ 35°C（50°F～95°F）
湿度：	10%～85%（相対湿度）
寸法：(高さx幅x奥行)	11.4” x 2” x 1.4”
	(290 x 52 x 35 mm)
重量：	0.88 lbs（400g）

8. 法的情報

著作権

IRIScanExpress4-dgi-18032016-04

Copyright© 2016 I.R.I.S SA.All rights reserved.

本書の情報を予告なく変更することがあります。本書で説明されているソフトウェアは、ライセンス契約または非開示契約に従って提供されます。本ソフトウェアは、こうした契約条件に従ってのみ使用またはコピーを行うことができます。本書の内容の一部または全部は、予め書面による I.R.I.S. SA.
の許可なしに、いかなる形式や方法で複写することはできません。

本器でスキャンされた文献は、著作権法等の法律や規則によって保護されており、お客様は、かかる法律や規則を遵守する責任があります。

商標

Microsoft は、アメリカ合衆国における Microsoft Corporation の登録商標です。
Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 はアメリカ合衆国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。
本書で参照しているその他の名称や製品は、各企業の商標または登録商標であり、各企業に帰属します。

保証

このマニュアルの情報を予告なく変更することがあります。

I.R.I.S.
では、本書に関して一切の責任を負いません。これには特定の用途に対する適合性が含まれますがそれだけに限定されません。

I.R.I.S.では、本書中の誤りや、本器の設置、操作、使用に関連した偶発的損失、またはその因果関係による損失に関する法的責任は負いかねます。

安全に関する指示

スキャナを設定して使用する際には、以下の安全指示をお守りください。

- 本指示文をすべて読み、本書に記載された警告文や指示文に従ってください。
- インターフェイスケーブルが簡単に届くように、コンピュータの近くにスキャナを配置してください。
- ノマディックモード、すなわち固定ユニットとして使用する際に、スキャナを湿った手や濡れた手で操作しないでください。
- ケーブルで本製品をコンピュータなどの機器に接続する際には、コネクターの方向が正しいことを確認してください。各コネクターの正しい接続方向は、1つしかありません。コネクターの挿入方向を間違えると、ケーブルを接続した機器が両方とも破損することがあります。
- スキャナの所定の位置にミニ SD カードや新しい電池を入れる場合を除き、危険な高圧部に触れたり、部品が短絡したり、感電死するおそれがありますから、開口部に異物を入れないでください
- 本製品やスキャン対象文書が安全に保持できるように、本製品を安定な平面上に置いてください。
- スキャナを分解しないでください。
- 異音、過熱、発煙、異臭、変色、変形などの異常に気づいたら、直ちにスキャナの電源を切り、電池を外し　(該当する場合)、ケーブルを抜いてください。スキャナの使用を中止し、販売店または IRIS カスタマーサービスに連絡して、指示を仰いでください。
- スキャナを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。

- スキャナは、屋外、車内、熱源の近く、ほこりの多い場所、および、衝撃や振動や水分の凝結を受けやすい場所、高温の場所、温度や湿度が急変する場所に置いたり、直射日光や強い光源にさらさないでください。
- ご自分でスキャナやスキャナのオプションを分解または改造したり、修理しようとしないでください。
- Wifi 送信機能を装備した機種（IRIScan Book Executive 3,、IRIScan Anywhere 3 Wifi、IRIScan Pro 3 Wifi）のみに適用される特別な指示：
- 本製品から輻射される電波によって、医療機器や航空機の測定機器、ペースメーカー、自動ドア、火災報知機などの自動制御機器など、電波の影響を受けやすい機器が誤動作することがあります。
- こうした機器の近くまたは医療施設内で本製品を使用する場合、事故を防止すべく、かかる施設の管理責任者の指示を遵守し、施設内に掲示された警告や機器の指示を守ってください。

USB 電源

- USB ケーブルは、コネクターが摩損または切断せず、曲がったりねじれたりよじれることがないように配置してください。
- USB ケーブルの上に物を置かないでください。また、人や物がケーブルを踏む可能性のある場所に配置しないでください。
- 特に、USB ケーブルの両端がまっすぐな状態を維持するように注意してください。
- 次の状況が発生した場合には、スキャナから USB ケーブルを抜き、専門の修理業者に修理を依頼してください。スキャナ内に液体が入った場合。スキャナを落下させたり、
- 外囲器が破損した場合。スキャナが正常に動作しなくなったり、性能が著しく変化した場合。
- USB ケーブルを使用してスキャナを一杯に充電したら（画面上にバッテリーインジケーターがフルに表示される）、ケーブルを抜いてノマディックモードで使用してください。

電池の安全に関する重要な指示

- 電池が交換可能になっている機種（IRIScan Book）では、使用済み電池を入れたままにしないでください。電池が腐食して本器が修理不能になります（この種の事故には保証が適用されません）。電池を交換する際には、液漏れ、過熱、爆発、腐食など機器の故障による怪我や火災を防止するために、電池を慎重に取り扱ってください。
- 充電式電池と交換不可のリチウム電池が内蔵されている機種（IRIScan Anywhere 3、IRIScan Anywhere 3 Wifi）では、スキャナを開いて電池を取り外さないでください。認定技術者のみが交換を行なうことができます。電池の動作に疑問がある場合には、スキャナの使用を中止し、販売店または IRIS カスタマーサービスに連絡して、指示を仰いでください。
- 電池の交換が可能な機種（IRIScan Book）の場合、長期間（1ヶ月以上）本器を使用しないときには電池を外しておいてください。
- 交換不可のリチウム電池が内蔵されているスキャナ（IRIScan Anywhere 3、IRIScan Anywhere 3 Wifi）を 1 ヶ月以上使用しなかった場合には、電池を完全に充電してから使い始めてください。
- 電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。電池の液が目に入ったり皮膚に付着した場合、直ちに患部を水洗いし、医師の手当を受けてください。電池を飲み込んだ場合、直ちに医師の手当を受けてください。
- 電池から液が漏れた場合、布で液をふき取り、新品の電池と交換してください。
- IRIScan Book 3 と IRIScan Book Executive 3 には、それぞれ、アルカリ電池、リチウム電池、またはNi-MH 電池（単 3 型または単 4 型）をお使いください。
- 新品の電池と使い古しの電池を混用したり、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 表示された通りに、正しい方向に入れてください。
- 電池が使えなくなったら、直ちに抜き取ってください。

- 電池を高温にさらしたり、火中や水中に入れないでください。
- 電池を取り外す際には、ピンセットやペン先など金属製の物を使用しないでください。
- 使い終わった電池を廃棄する際には、発火や爆発を防止するために、電池の両端をテープで覆ってください。

使用済みの電池は、必ずお住まいの地域の規則に従って廃棄してください。

米国連邦通信委員会（FCC）の電磁波妨害に関する注意事項

この機器は、FCC 規則の Part 15 に基づく試験が実施され、クラス B デジタルデバイスの限度値に適合しています。 次の 2 つの条件に従って動作するものとします。(1) 本器によって、有害な干渉が発生することはない。(2)
本器は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。FCC Class B 限度値は、住宅地でこれらの機器が利用される際に、有害な電波干渉に対して適切な保護を提供することを目的に設定されています。本器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射するため、指示通りに設置および使用した場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす恐れがあります。
しかしながら、特定の設置方法によって、電波干渉が必ず発生しないという保証はありません。
本器が実際にラジオやテレビの受信障害を引き起こす場合
(機器の電源をオンとオフに切り替えることで確認できる) は、以下のいずれかの方法を 1 つ以上お試しいただき、電波干渉を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えたり、設置場所を変えてみる。
- 受信機と本器との距離を遠ざける。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回線を使ったコンセントに、本器のプラグを接続する。
- 販売店または専門技術者に、他の方法について問い合わせる。

欧州連合規定通知

CEマークが表示されている製品は、以下のEU指令に準拠しています

- 低電圧指令 2006/95/EC
- EMC指令 2004/108/EC
- 特定有害物質の使用制限（RoHS）指令 2011/65/EU

Avisionが提供するCEマーク付きACアダ プターを電源とする場合、本製品は確実にCEに準拠します。

本製品は EN55022、EN55024 の Class B 限界、EN60950 による安全要求条件および EN50581 の ROHS 要件を満たしています。

*本製品は Class 1 LED 製品として認定されています。

欧州連合の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

製品またはその梱包物にこのマークがある場合、当該製品を家庭廃棄物と一緒に廃棄することはできません。健康保全と環境保護のために、廃棄の際には、リカバリないしリサイクルの専門施設に当該製品をお送りください。廃棄機器リサイクル施設の場所については、お住まいの地域の市町村・区役所や家庭廃棄物処理業者、または製品のご購入店にご相談ください。